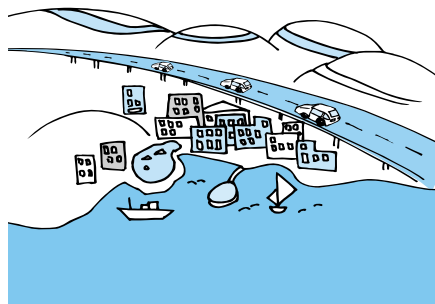


# 一般質問…ここが論点



12月市議会定例会中、11月30日、12月1日、2日の3日間で、市政全般について14人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、12月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも3月上旬の予定です。また、インターネット録画放送も実施していますのでご覧ください。



## 飛田常年(市政クラブ)

### 蒲郡港マイナス11m岸壁の整備について

**問** マイナス11m岸壁整備の今後の見通しは。

**答** 今年の8月に重点港湾として選定され、事業の進捗に大きな期待が寄せられている。さらに、自動車の輸出がかなり多い。こうした背景の中で、平成26年度には一部岸壁が供用できる予定と聞いている。

### 西大塚千尾地区基盤整備事業について

**問** 今後、計画どおりに進むのかどうか見通しは。

**答** 平成23年度に事業認可を受ければ、最短、27年に換地処分ができる。

### 相楽町生活プロジェクト実験集落整備事業

**問** 施行後40年余り経過し施設の老朽化が著しいと聞いているが市の対応は。

**答** 生活排水処理施設について、23年2月末を目標に対応策を検討中である。

### 柴田安彦(日本共産党)

#### 市の財源確保とその活用について

**問** 市はすぐに財源がないと言うが、地方交付税と臨時財政対策債で、8億3千万円の財源が確保できる。蒲郡海洋開発(株)への増資(3億円)、減債基金への積み戻し(2億6千万円)に使うのではなく、公共施設の修理・修繕、地域要望等の前倒しに使い、市内の景気回復をはかるべきではないか。

**答** 臨時財政対策債は本来地方交付税なら実際の

ラグーナ蒲郡



お金がくるべきところ、国に現金がないという理由から起債というかたちをとっている。現金で交付される地方交付税であれば使えるが、将来交付税として交付されるかどうか不安なところもあり、借入金が増える状態の中で、全部使うという考えはない。年度の後半に向け、歳入歳出の全体像がはっきりした段階で、次の3月議会で何らかの補正というものは、やぶさかではないと思っている。

### 日恵野佳代(日本共産党)

#### 市内の緊急景気対策として

**問** 住宅リフォーム助成制度の予算を緊急に、追加すべきではないか。

**答** すごい効果であった。議会の皆さんと考えていきたい。

**問** 市民プール、勤労青年ホームも、必要な工事を市内業者に発注して事業継続すべきでは。

**答** 今年度末までには方向性を出していきたい。

#### 市民の足確保、公共交通機関の充実

**問** 巡回バスを実施していないのは東三河で蒲郡市だけ。実施すべきでは。

**答** 研究をしていく必要があると考えている。

#### 例外なしの関税撤廃を前提とするTPPについて

**問** TPP参加反対を表明するべきではないか。

**答** TPPは反対。日本の農業を守るべきだ。